特集1

骨格見えたIP電話ビジネス

IP電話市場の動きが3月から加速している。事業者数が一気に増えたコンシューマー向けに加え、企業を狙ったサービスも続々登場してきた。本特集では、IP電話を機軸としたビジネスモデルを分析する。パート1では商用化が進むサービス市場の現局面をレポートする。パート2では、今後本格化する企業向けビジネスのポイントを解説する。

Part 1 サービス動向

基盤固めるぷららとME 050番号の二次卸も活発化

Yahoo！BB「BBフォン」を追いかけて昨年末から試験提供が始まった各社のIP電話サービスが、いよいよ商用化の段階に入った。Yahoo！BBがまだ使い始めていない050番号の取得事業者（以下、050取得事業者）を軸に、ISPが続々と市場に参入してきたことで、市場の骨格も固まりつつある。

パート1では、コンシューマー向けを中心としたIP電話のサービスとプレイヤーの動向を追ってみる。

BBフォン並みの料金が続々

まずは、試験期間中“無料”となっていたサービス料金を整理しておこう。

一般電話への通話料を見ると、BBフォンの全国一律3分7.5円に対して、「3分8円」でグループができている。

撃鉄を起こしたのは、昨年10月に早々と料金体系を発表したフュージョン・コミュニケーションズ「FUSION IP-Phone」だが、引き金を引いたのは今年2月のNTTコミュニケーションズ（NTTコム）だろう。「OCN.Phone」の料金発表を受けて、試験サービス時点で3分8.5円に設定していた「KDDI IP電話」は50銭の値下げを敢行した。「当初は何とかとどまろうと思ったが、競争上やむを得ないと判断した」と、KDDIのブロードバンド・コンシューマ事業本部コンシューマ事業企画本部・プロダクト統括部インターネットグループリーダーの菅雅道課長は説明する。一歩出遅れた日本テレコムのコンシューマ事業本部・マーケティング戦略部データ系プロダクトマネジメントグループの一倉茂樹課長代理も、3月24日から開始した「ODN IPフォン」の料金について「8円台での調整は可能と考えていたので、NTTコムが8円にしたことから横並びに設定した」という。

これら中継系事業者のVoIP基盤を利用するISP各社、さらにNTT東西のフレッツ対応IP電話端末投入を機に050取得事業者となったぷららネットワークスの「ぷららフォン for フレッツ」、そしてNTT-MEのコンシューマー向け「WAKWAKフォン」も3分8円に足並みを揃えた。

しかし、ここにきてYahoo！BBに真っ向から勝負を挑む動きも出てきている。

TTNetとの合併を果たしたパワードコムは、5月7日から商用化する「POINT Phone」で3分7.5円の値付けをしてきた。さらに、23時～翌8時は3分45秒ごとに7.5円を課金するという、従来の電話料金を踏襲した仕組みも取り入れた。

ぷららのVoIP基盤を利用するISPの中には「3分7.4円」、さらに「3分7円」という料金も登場してきている。

大手事業者の結束は、あっさりと破られた格好だが、追随してさらに値を下げる可能性はあるのか。

これについては、「ほとんどの事業者がBBフォンを強く意識していることからすれば、新規参入はともかくすでに料金を発表しているところは、BBフォンが値下げしない限り、また動くということはない」という見方が少なくない。また、「一般電話への通話料は、すでに全国3分8円以下になったことで十分なインパクトを与えている。これ以上の値下げで疲弊するのは意味がない」、「良し悪しはともかく、今は加入者間無料を強調されているため、ユーザー側も一般電話への通話料の多少の差はそれほど意識していない」という指摘もある。

さらに、NTTの接続料値上げがほぼ決まっただけに、少なくとも一般電話との通話に関してこれ以上の競争は難しいのが現状といえる。

無意味でもマイラインは残す

月々の基本料に目を移すと、さまざまな料金設定に加えて、ユニークなアイデアも目立っている。

フレッツ対応IP電話端末

NTT東西が3月から提供を開始した。ADSLモデム一体型ルーター「ADSLモデム－MNV」（スプリッタ込みで1万7800円/レンタル月780円）、ブロードバンドルーター「Web Caster V100」（1万7800円/月380円、モデム等・スプリッタは別）、外付け型アダプター「VoIPアダプタ」（1万4800円/レンタル月380円、モデム等・スプリッタは別）の3種類を用意している

NTTの接続料

加入者交換機によるGC接続と中継交換機によるZC接続がある。GC接続とZC接続の料金格差を縮めるために導入された長期増分費用方式による算定モデルにより、1999～2002年度はGC接続4.50円、ZC接続4.78円となっていたが、一般加入電話のトラフィック減少などの要因で、03～04年度の算出値は、GC接続が4.37円に下がるものの、ZC接続は5.36円に引き上げられる。通信事業者の多くは現在ZC接続のため、“値上げ反対”の声が高い。しかし、情報通信審議会の答申を経た総務省の省令改正では、この接続料が採用される見通し

Photo Colage/ Daddy's Home